

平成 23 年第 5 回運営推進会議議事録

日時	平成 23 年 12 月 6 日
場所	グループホーム優瑠里
参加者名	亀井、河野（老人会）、山下（保健センター）、保内第二分署職員、スタッフ全員、岡村（ほっと）、岡本（施設長）、浅野（管理者）、入居者全員、共用サービス利用者 1 名
<p>1. 避難訓練</p> <p>夜間帯、1 階居室から出火を想定し、発見・通報・消化・GH 駐車場までの避難 緊急連絡網による職員の集合、避難時の介助・協力 近隣住民、運営推進委員(地域の方々)による避難協力</p> <p>2. 消防署職員による避難訓練の講評、注意。</p> <p>出火、ベル、通報と手順が良かった。確認後も居室の戸を閉めていた。 二階からの搬送がネック、1 階の初動が夜間帯 1 名となり、負担が大きい。 消火できない時、危ない区画から、更に安全な区画に避難してもらう事が大切。 1 階の方から避難していたが、火事するとき煙が怖い。煙は、2 階から回り室内で窒息してしまう。まず 2 階の方を優先的に非難させる。 避難した方は名札を外すなどの取り決めをいっておくと二度手間にならない。</p> <p>3. 入居者、運営推進委員、消防署職員との意見交換。</p> <p>外に直接出られる階段が無い。既存の所でどう避難していくか。 階段をフラットにして、入居者さんを毛布に包み搬送していく等 避難時に必ず 1 階の戸を閉めると煙が 2 階に回らない。 消防署より教えてもらった避難方法をスタッフで訓練していく。 居室のコンセントの確認を行う。 外に出た時とても寒い、毛布が必要。</p>	